

各国の平和勢力, 国連に結集. 多彩な行動!

茨城から11人、日本勢1500名が参加



「原爆投下に謝罪」に胸を打つ!

竜ヶ崎原水協 藤沢 宏至

ニューヨークでの行動は、運動の一応の中間目標として設定されたセレモニーにすぎない。大事なのはそこへ積み重ねる一つ一つの署名行動であろう。

署名行動は言わずもがなのことであるが、現に目前にいる一人の人に核兵器の廃絶を訴え、そのうえでその課題について何らかの意思表示と行動を相手に迫る厳しい行動である。そして一人でも多くの人に世界へ向けて核兵器廃絶の声をあげてもらおう。これが今私たちの運動で一番大事なことだと信じている。その点に私どもは全力を傾注した。

このたびの署名「核兵器のない世界を」は一昨年の原水爆禁止世界大会で提起されたもので、私どもはその時点から行動を開始し、昨年夏からは新日本婦人の会竜ヶ崎支部と共同で、竜ヶ崎市から1万33筆（原水協単独でも8千197筆）の署名を国連本部へ届けることができた。（日本全国で690万1037筆）

ニューヨークでも4月30日、5月1日はコロンブスサークルで

2日はタイムズスクエアで、茨城千葉の代表と一緒に署名行動を行った。呼びかけの言葉はバカの一つ覚えで暗記していったものだが良く応じてくれたと思っている。2日の午後は「核兵器のない世界のための国際行動」、タイムズスクエアから国連本部までニューヨークの中心街は日本人でいっぱい。異国にいるという感じはさらになかった。個人的なことだがこの行動の中で東京代表として参加していた孫娘と出あい、手を取りあったこと。老い先の短い私にとって大きな喜びであった。

3日は国連本部再訪問、そのメインギャラリーで開かれていた原爆写真展に改めて見入り、午後、リバーサイド教会での公開シンポジウムに出席した。アメリカのパネリストがはっきりと原爆投下を謝罪したこと、原爆の被害を受けたのは世界でただ一つ日本。その日本が核兵器廃絶をいわなかったら、世界は沈黙してしまうだろうというまとめの言葉が心に強く残った。

国連事務総長

日本の草の根運動に感謝!

鹿行民商会長 関口 正司

行動参加にご協力頂いた民商会員のみなさん、ひなたぼっこの介護師の皆さんを初め、物心両面のご支援のお陰で無事役目を果たすことができましたことを厚く御礼申し上げます。

私は、幼少のころ、体も小さく、気も弱く、たびたび、いじめにもあったりしていました。それだけに暴力は許せず、「思いやり」の心を心がけてきました。

そんなおり、1962年、東京電力に入社して間もなく、日本共産党と出会い、戦前の専制政治、暗黒の時代に戦争反対の旗を掲げて戦っていた人、政党があったことに驚き、目からうろこが取れた思いがしました。それ以来、平和と民主主義、憲法を守る運動に取り組んできました。

1972年、神栖に移住し、1984年、鹿行民商の結成から事務局長として活動し、民商がまた、「平和でこそ商売繁盛」を柱に運動し、原水禁運動の草分けであることを知りまた驚きでした。

世界に誇る憲法を持ち、被爆国の日本の平和運動は、誇るべきものがありますが、世界はもっと進んでいるのではとNPTニューヨーク行動に参加することにしました。

特に今回の行動は、オバマ発言もあり、世界的に核兵器廃絶の世論が、高まる中で開催となり、大きな前進が期待され、700万もの署名を国連に積み上げた日本の平和運動にバン・ギムン国連事務総長初め、多くの首長や知識人が、称賛と感謝を述べていました。

特に強調されていたのが、国連事務総長の「一人一人の草の根の運動が、世論を動かし、政治を変え、今日の状態を生み出している、高貴な希求である世界平和の旗を掲げるためにどれだけ勇気が必要とするかを知っています。その原則と信念のためにどれだけ犠牲を払っているか知っています。ですから、私は何よりも皆さんに感謝を申し上げます」毎日毎日の地道な活動を評価する発言に感動しました。そして何よりも確実に核兵器廃絶へ国連が大きく動き出したことを確信しました。

取り分け被爆国日本が、核兵器廃絶の声を広げ、あげ続けていくこと、その先頭にたって活動します。

歓迎!! 新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

- 鈴木 三郎さん (小美玉市)
- 垣内 清美さん (石岡市)
- 本田 恵子さん (水戸市)
- 後藤 久子さん (結城市)
- 山形 勝二さん (水戸市)

亀・牛・かたつむりが歩むように、各平和委員会のみなさん1人1人の力で毎月5名の仲間づくりができれば最高です。

平和新聞

2010年5月25日(火曜日)
1926号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 564

2010.5/25

発行: 茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

国連事務総長、 8月に広島を訪れると約束

原水爆禁止茨城県協議会 会長 加藤 岑生

2010年のNPT再検討会議は10年前に核保有国5カ国が受け入れた「核兵器廃絶の明確な約束」の実行が問われています。長年の被爆者の願いを先頭にした原水爆禁止運動の成果として、国際的な高まりの中、前進が期待されています。

5/2(日)タイムズスクエアでの集会は道路の片側を封鎖し、30度を超える炎天下、車の騒音の中で行われました。国連本部を目指したパレードはマンハッタンの中心を世界各国、日本原水協1600人の日本代表団を含む、約1万人から2万人の参加者で実施されました。

4/30(金)からのリバーサイドチャーチでの第1回国際平和会議ではこれまでの世界の反核運動がバラバラな目標を掲げて進められて来ましたが、核兵器廃絶の一点でまとまり、国際的な大きな流れを作る契機になりました。

この会議の2日目にパン・ギムン国連事務総長の演説が「ここリバーサイドチャーチはマーチン・ルーサー・キング牧師がベトナム戦争反対の発言をした場所。自分の戦争体験を話し、今年は8月に広島を訪れること。核兵器廃絶するのは権力者でなく民衆の力。日本の皆さんは決して諦めないで下さいと。日本人が諦めたら核兵器は無くないと。」この発言に励まされました。

今回のNPT再検討会議で必ず肯定的な方向を期待できると感じたニューヨーク行動でした。



NPT再検討会議の茨城県代表団

龍ヶ崎でも5.3憲法のつどい

龍ヶ崎市では、市民団体「憲法を考える龍ヶ崎市民の会」(富山勝代表)主催の集いが、米軍基地問題と憲法9条をテーマに開かれた。

日本平和委員会の岩月康範事務局次長が「沖縄基地問題と安保条約、そして憲法」をテーマに講演。集いには市民約50人が参加。「海外で不毛な戦争を行う海兵隊をいつまでも日本に置いておいていいのか、普天間移設問題をきっかけに市民自身が考えないといけない」述べ、「平和はだれもが願っていることだが、平和運動は、沖縄の人やイラクの人の痛みを共有するという、時間と空間を超えた感受性が必要になる」などと訴えた。

5・3憲法フェスティバル

ヒバクシャの願い

北茨城平和の会 柏木 裕美

「私は語れるだけ恵まれたヒバクシャです」

この言葉に私はドキッとしました。

新型爆弾「原爆」を初めて投下された町ヒロシマで奇跡的に生き残ったにもかかわらず、ヒロシマ出身であることで就職や縁談が、いわれなき差別によって断られたり、さげすまれ…広島出身であることをよほど親しくなった人間以外には口に出せなかった。また、いまだに口に出せていない方もいるなかで、その方も15年前までは、家族にさえヒバクシャであることを話してはいなかったそうです。

そのような方が、被爆体験を語るようになったのは、「生き残ったヒバクシャとして語っていかなければいけない」という思いが、自分の中に芽生えたからだそうです。

去年1年で亡くなられたヒバクシャの方は8939名だそうです。ヒバクシャが高齢になり「その日、その時」を体験者から聞く機会が減りつつあるなか、「その日、その時」に受けた身体だけでなく心の奥深く受けたキズを抱えながら、体験を語り続けるヒバクシャの願いは、核兵器の「削減」ではなく、「廃絶」で、二度と、原爆が使われることのない、平和な世界の実現なのです。

原爆はヒバクシャにとって「過去」のことではなく「現在進行形」のことなんです。

体験者の生の声を聞くことがまだ出来るうちに、私たちの原爆に対する考えも「現在進行形」に切り替える必要があるのではないのでしょうか。



- 千波湖の憲法フェスタ盛会を
かわら版で読む緑いやます
- かわら版いろいろ伝えてくれるけど
足腰痛めば紙上参加で
- 平和新聞運んでくれた帯封は
孫詠む短歌のメモ書きとなる

投稿短歌三首
(みとみなみ平和の会) 田中 日出夫

平和講演会のお知らせ

日本被団協事務局長、土浦に来る!

とき：6月6日(日) 14:30~16:30

ところ：土浦市民会館 会議室

テーマ：「核兵器のない世界」への道

—いま世界は、そして私たちは—

講師：田中熙巳(日本被団協事務局長)

参加費：一般1,000円 学生・障害者300円

主催：賢謙楽学(筑波大学)/ニコエコテイコ

後援：土浦市/土浦市教育委員会

いばらきコープ生活共同組合

会場カンパ9万4千円! ありがとうございました。

5・3憲法フェスティバル参加者のみなさんからの沖縄・普天間基地闘争への心からの連帯支援ありがとうございました。仲山弁護士に託して有効に活用させていただきます。